

ファミリーサポート・ぐりとぐらについて



1. 活動のはじまり・・・平成11年4月

平成10年、長野県上伊那地方で初めて「保育サービス講習会」が行われ、駒ヶ根市に保育サポーターが10名誕生しました（駒ヶ根市働く婦人の家（現在の女性ふれあい館）主催）。翌年4月から、受講した仲間間で一時預かり活動を始めました。「私たち自身の困った経験が他のお母さん方の助けになれば」という気持ちでのスタートでした。

2. 会の目的と名前・・・お子さんのお預かりと幅広い学習活動を通じて、 子どもを育てる方々と子どもたちの福祉の向上に関わること

「絵本の『ぐりとぐら』の周りにたくさんの動物が集まるように、私たちのまわりにお母さんや子どもが集まって、みんなが楽しく子育てできたら」という思いをこめて「ファミリーサポート・ぐりとぐら」と名づけました。平成15年に福音館書店に問い合わせ、名前の使用についての了解をいただきました。（今後、活動が大きくなり、法人格を持つような状況になれば、この名前は変更します）

3. 会員・・・現在30～70代の19名の正会員と22名の協力会員

「I am OK, You are OK.」あなたも私もそれでOK。子育てや介護、仕事、家庭のこと等、お互いの事情を認め、活動の必要を感じたら「動ける人が動けるときに得意なことを分担する」ことを積み重ねてきました。

4. 活動・・・お子さんのお預かりと私たち自身の学習活動

スタート時に中心だった子育て当事者のメンバーは、子育て中の孤立や不安、子育て支援の社会的な必要を肌で感じ、私たちが「あったらいいね、やりたいね」と思う事、そして駒ヶ根市で子育てをするのに必要なことを自分達の手で実現してきました。一時預かりと、学習活動（グループ内での学習のほか、講演会や交流会、音楽会の開催、市への陳情、子育て支援冊子の作成など）の両輪で活動を続けました。当事者ならではのニーズに合った活動ができました。

① お子さんのお預かり

活動を始めて10年ほどの間、駒ヶ根市内のファミリーサポート需要は、当会が一手に引き受け、年間延べ1,300人前後のお子さんをお預かりしました。一方、会員は子どもたちの成長に伴い仕事を持つようになり、需要と責任の大きな活動を一つのボランティアグループが続けることの不安、また託児を通して見えるさまざまな子育ての問題について行政が直接把握する必要も感じるようになりました。そこで、ファミリーサポートを「公の事業」として、広く多くの方が支援に関われるよう行政でのファミリーサポートセンター設置を要望し、共に検討を重ね、平成21年に駒ヶ根市がファミリーサポートセンターを設けました。それ以降、駒ヶ根市内のお預かりはセンターに協力して行い、近隣市町村、タイムケア（障がいを持たれたお子さんのお預かり事業）、直接当会へを希望する託児依頼、緊急のケースについて引き続き会独自で続けています。平成30年度以降は、市が行わなくなった団体のお預かり事業も再び引き受けています。

ひとつひとつのお預かりを丁寧に、子どもの心にそっと寄り添って「良い時間が過ごせた」と思っていただけける託児を心がけています。

② 学習活動（必要な勉強もやりたいことも、自分たちの手で）

○月一度の例会では、会員同士が講師になり、または外部講師を依頼して、子育てや支援に関する技術的なこと、病気や虐待などの知識、介護の問題、市町村合併の考え方などを学習してきました。

「子どもの病状判断」「扱いにくい子ども」「女性を取り巻く環境と育児支援の必要性」「企業内保育」「読み聞かせの技術」「幼児の救急救命」「施設視察」「子どもの権利条約」「緊急サポート」「ネウボラ」「つどいの広場事業」「障がいをもつお子さんのお預かり状況」など。

○その他、「こどもといっしょに森の音楽会」、「子育て交流会」、講演会・公開講座「子どもの発達と病気」「子どもの虐待ってどんなこと？」「子どもを預けるということ（3歳児神話）」などを開催。

○毎年9月の「ふれあい広場」（障がい者とともにつくるお祭り）に参加。11月の「ホーム祭」（女性ふれあい館利用者の会発表会）では、当会の活動紹介や、最近の子育て事情、近隣市町村全体の子育て支援状況などの調査・まとめなどを発表してきました。



こどもといっしょに街の音楽会



定例会にて



託児の様子

③ 当会で働きかけ、実現した子育て支援関連活動

- 駒ヶ根市「土曜拠点保育」→一時預かり活動から必要を感じて市に要望し、実施される。
- 「子育て関連サークル連絡会」→設立を呼びかけ、駒ヶ根市子育て支援センターが事務局となり継続。
- 駒ヶ根市「きつずらんど」開設→「駒ヶ根市に幼い子どもと子どもを育てる人たちが集える場所設置についてのお願い」の署名と請願を子育てサークル連絡会に呼び掛けて実現。市が運営。
- 「おでかけママップ」（駒ヶ根市子育て支援冊子）→子育て関連サークル連絡会に作成と協力を呼びかけて作成。連絡会を中心に新しいサークル「おでかけママップ」を作り作成活動。（第5版まで）。市の新生児訪問の際にも配布される。
- 「子ども用品フリーマーケット」→開催を呼びかけ、子育て関連サークル連絡会の事業として年2回開催。
- 「安心して安全な出産ができる環境を考える会（in伊南）」→地元病院から産科がなくなる問題についての説明会開催呼びかけ、その後賛同者が会を作り、産科医師不在の地域の中で安心して出産できる体制づくりを行政に働きかけながら展開。
- 子育てひろば「まあるくなあれ♪」を行政とともにづくり、協力運営しています。

5. その他

社会福祉協議会ボランティア連絡協議会、女性団体連絡会、女性ふれあい館を通じての活動や、駒ヶ根市の各種協議会や評議員会、懇話会、委員会などからの要請に応じ参加協力をしている。（子育て10ヶ条策定委員会、子ども子育て会議、図書館協議会、男女共同参画審議会、地方創生会議 等）

6. 仲間

中川村つどいの広場「バンビーニ」ファミリーサポート「森のこびと」は、当会の仲間が主となって活動運営しています。また、子育て中のお母さん方に寄り添い集いの場を提供するグループ「ひらけごま」と協力活動。

会の中では「あなたも私も、それでOKよ」。

会の外では、関わる団体や関わる方、行政等と協力・尊重しながら。